

～下記の研究を行います～

『体位による採血結果変化に及ぼす臨床的因子の検討』

【研究責任者】 岩谷博次

【研究の目的】 体位変化により採血結果に変化が生じるとされるが、その採血結果変化に及ぼす臨床的因子を検討する。

【研究の期間】 研究許可日～2026年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2000年1月1日～2021年1月29日までに当科に受診歴のある患者さんのうち、末梢血、アルブミン、総蛋白のいずれかを、外来と入院で測定したことのある患者さん、もしくは外来において複数の体位で測定したことのある患者さんを対象とする。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、喫煙歴、飲酒歴など
- ・疾患情報：病名、病歴、使用薬剤、透析の有無など
- ・検査結果：Cr、eGFR、シスタチンC、Na、K、Cl、Ca、P、Mg、Alb、TP、UN、UA、 γ GTP、ALP、AST、ALT、T-Bil、CK、LDH、脂肪酸、アミノ酸、カルニチン、ビタミン、鉄、亜鉛、銅、血糖、HbA1c、TC、TG、LDL-C、HDL-C、CRP、BNP、NT-proBNP、ANP、PTH、EPO、FT3、FT4、TSH、WBCとその分画、RBC、Hb、Ht、Plt、血液ガスなどの血液データ、尿中の蛋白、潜血、糖、 β 2MG、 α 1MG、L-FABP、N-gal、NAG、Na、K、Cl、Cr、Ca、P、Mg、UN、TP、アルブミンなどの尿データ、便潜血などの便検査結果、X線検査、CT、MRI、骨塩定量、心電図、エコーなどの画像データ、体組成検査等

試料：なし

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 腎臓内科 (科長) (岩谷博次)